

# 1 ppms マシントime割振 ~~online~~/会議 instruction

コロナ禍真最中の 2021 年 01 月から 2024 年 3 月まで毎月対面で、日帰可能な近距離の利用希望者と所内の利用希望者に限って、ppms マシントime割振会議を毎月行ってきました。その後柏キャンパス内外の参加者の会議参加負担の公平化のため、2024 年 4 月から会議の online 化を進めました。しかし、この online 化は google の無料サービスに完全依存していたり、セキュリティ上のリスクがあるなどの課題がありました。また、利害調整の会議は、online 会議の特性上宜しくないとの私の個人的な判断もあります。そこで、2024 年 12 月会議 (2025 年 1 月利用分) からは、以下の要領で物性研究所所属の人のみの対面会議に変えることとします。

## ユーザのクラスわけと会議予定の告知

- 全てのユーザを以下のようにクラス分けを行う。
  - class S : 宿泊を伴う物性研以外の人 (遠距離の共同利用).
  - class A : 宿泊を伴わない物性研以外の人 (近距離の共同利用).
  - class B : 物性研内の人で前月使用実績のない人.
  - class C : 物性研内の人で前月使用実績のある人.
- 会議の予定日は emag HP 上「Yamauchi's Tweets」か「カレンダー」上に掲示する。

## 利用予定前月 19 日深夜 24 時以前

- class S のみ申請可能。
- emag HP 上「連絡先」に記載のアドレスに、従来通りテンプレを利用し申請する。
- 上記アドレス以外に送られた申請は無視される。
- 申請可能期間は、利用認可期間 (ex. 2025/04/01-2024/09/31) 全域とする。
- class S 同士で希望日程が被る場合は早い者勝ち。

## 利用予定前月 20 日午前零時から会議当日昼 12 時まで

- class A と S が申請可能。
- emag HP 上「連絡先」に記載のアドレスに、従来通りテンプレを利用し申請する。
- 上記アドレス以外に送られた申請は無視される。
- フライングメール (受信サーバ上の時計で判定) は無視される。
- 申請可能期間は、利用予定月のみ (年末年始は若干の変更あり)。
- 希望日程が被る場合は早い者勝ち。ただし class S と A は同列に扱われる。

## 会議当日、通常 14 時開催

- class B, C 全ての希望者は A453 に集合。class B, C 区分について以下の通りとする。
  - 前月カレンダーも資料として提示するが、class B/C は自己申告とする。
  - 偽申告にペナルティは設けないが、対面で参加者相互のチェックは行う。

- 会議当日正午時点の利用可能日数を  $D$ ，会議に集合した人数を  $N$  とする。
- $D/N > 2.0$ ，全参加者の希望日数を調整後カレンダー上でスケジュールを組む。
- $D/N \leq 2.0$ ，class B からスケジュールを組み，余れば C の人に配分する。
- 利用予定日程を参加者全員が承認し会議終了。

#### 会議終了後 24 時間以内

- 従前と同様に，テンプレを利用して必要情報を emag HP 上「連絡先」に記載のアドレスに送付。
- (isspemag \*) の gmail アカウントに送っても無視されるので注意。
- 会議後 24 時間以内に送付なき場合，優先権は消失し，他からメールでの通常利用申請があれば，それが確定する。

以上。

山内徹

2024 年 11 月 29 日